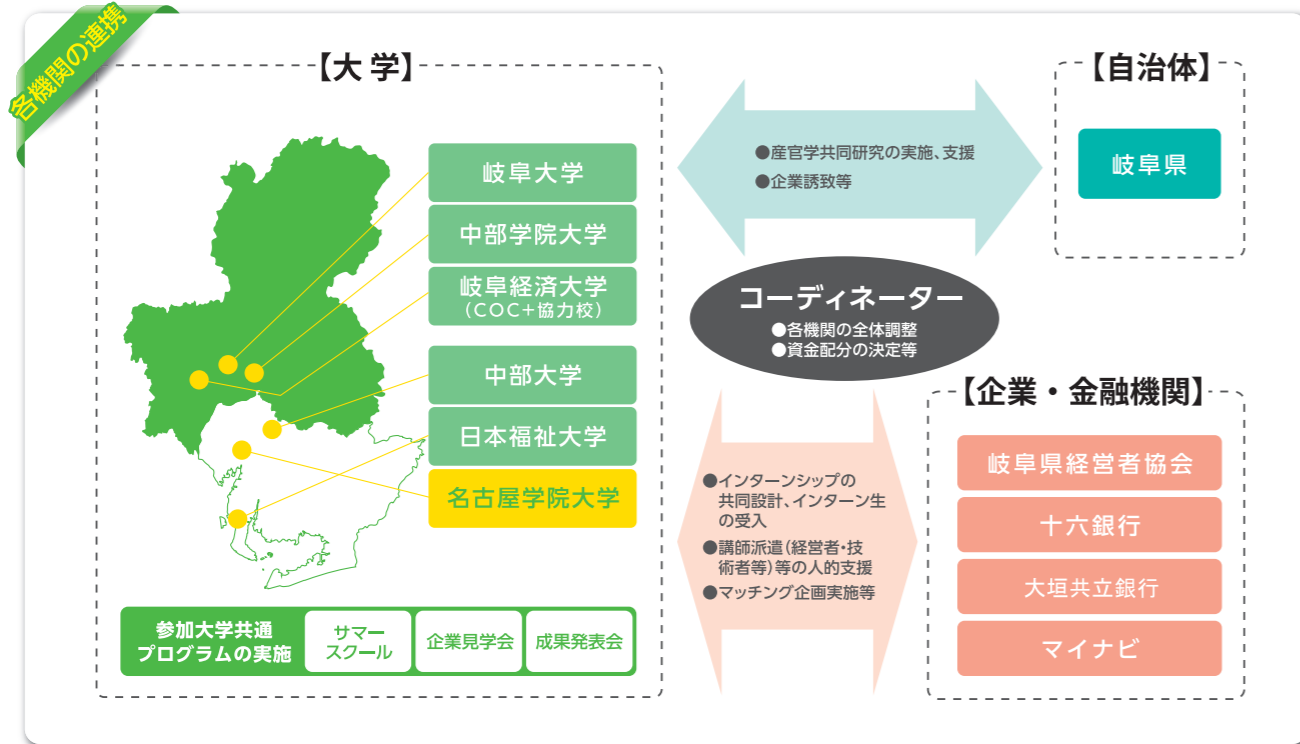


## 【COC+事業】事業協働機関

岐阜大学を中核とするCOC+事業「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」では、大学・自治体・企業・金融機関が連携して「ぎふCOC+事業推進コンソーシアム」を設置し、岐阜県の地方創生や若者の人材育成に関するプログラムを進めています。



「地域の質」を高める

「地」域連携・「知」識還元型まち育て事業

岐阜でステップ×岐阜にプラス  
地域志向産業リーダーの協働育成



## COC+多治見プロジェクト

2016年に本学が企画運営を担当した、COC+参加大学共通プログラム「サマースクール:多治見コース」の精神を引き継ぎ、フィールドワークが基盤となる教育プログラムを実施しています。多治見市役所全面協力のもと、地域の産業振興や企業誘致、観光、文化体験などをテーマに、多治見市の美術館や企業、商店街などを訪問し、学生の視点でまちづくりを考えます。

### 【テーマ】

- 2016年 「地域の産業・観光振興計画とタイル産業の将来を考える!」
- 2017年 「多治見市の“観光まちづくり”を考える ~どうしたら若い観光客が増えるか!?~」
- 2018年 「多治見市における企業誘致戦略と新しいまちづくり」



多治見市役所経済部産業観光課  
水野 康次郎氏

多治見市は、平成19年に企業進出支援の専門部署「企業誘致課」を立ち上げ、市内への企業進出を支援しており、これまでに22企業が進出しています。地場産業である「やきもの 美濃焼」は依然このまちのアイデンティティであり、その中で、進出企業と地域が共に発展するための「アフターフォロー事業」を多治見市は何より大切にしています。参加した学生の皆さんには、実際に企業を見聞きする中で、地域住民も進出企業もハッピーになれるような、今後の多治見市の「新しいまちづくり」に対する前向きな提案を頂きました。市としても施策に活かしていきたいと考えています。

名古屋学院大学 社会連携センター

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号  
Tel. 052-678-4085 Fax. 052-682-6813

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」  
COC+事業  
PROJECT &N 詳しいお問合せは、  
renkei@ngu.ac.jp



NGU 名古屋学院大学

LOOK FORWARD  
未来をともに進もう。



キャンパスのある名古屋・瀬戸の地域課題解決をはかるプログラム

# COC事業「地(知)の拠点整備事業」

COCとは、Center of Communityのこと。大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

## 名古屋学院大学が取り組む「3つのまちづくり」

「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つのまちづくりアプローチから、地域の課題を解決していきます。それによって、名古屋市、瀬戸市の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくり、すなわち「地域の質(Quality of Community)」の向上を図ります。



### 地域商業まちづくり

商店街活性化などを通じて地域経済効果の増大をはかります。

### 歴史観光まちづくり

歴史の掘り起こしや地域資源の発掘により歴史観光を推進します。

### 減災福祉まちづくり

学生パワーを活かした災害に強いひとづくり・まちづくりをめざします。

COCからCOC+へ。岐阜県の地方創生や若者の人材育成に関するプログラム

# COC+事業「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」

名古屋学院大学は、2013年度から文部科学省認定の地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)を実施しており、地域で活躍する人材の育成に取り組んでいます。2016年度からは、新たに就業を前提とした「COC+(プラス)」を開始。連携大学・自治体・企業・金融機関が協働して地元企業と学生との関わりを強化し、地域のニーズにより適した人材を育成することで、地元定着の促進を図ります。また、大学の知を活用した産官学共同研究を通じて、産業振興を促進し、雇用創出の取組を進めます。

## 飛騨高山 観光地域づくり 人材育成プログラム

観光地域づくり人材育成プログラムは、地方における就業の定着を目的に、地域と大学が各々の資源を活かして共同で人材育成を行います。高山市の観光産業でのインターンシップでサービス提供のノウハウや企業経営を学ぶと同時に、地域理解と情報発信の実施を通して、コミュニケーション力や課題解決力といった社会的スキルを身につけます。



## COCカリキュラム

### 歴史観光

課題解決型授業(PBL) 全学生が履修できるNGU教養スタンダード科目に「地域理解」分野を開設し、3つのまちづくりについて学ぶ7科目を開講。地域での実践を通じて、現場重視の調査・分析・提案を行います。また、これらの科目は、リーダー格の受講生が継続履修できる「スパイラル型学習」となっています。

### 基礎学習

(高山演習を受講するにあたり義務づけられる授業)

#### ① 歴史観光まちづくり学 (観光をとりまく社会理解)

- 観光概論(観光市場、宿泊産業、交通、ツーリズム産業など)
- 地域づくりと観光の関係(観光地とマーケティング、情報発信など)
- 新しいツーリズム、着地型観光



#### ② 歴史観光まちづくり演習 (観光を題材とした地域での実習)

- 名古屋、瀬戸における観光資源の活用(観光拠点の活性化など)
- 受入地域としてのホスピタリティ(地域イベントの運営サポートなど)



## COC+カリキュラム

### プログラムの魅力

- 多国籍な観光客が訪れる高山市で行う実習は、観光産業への就職の強みになります。
- 企業の課題解決に取り組む演習は、社会人基礎力が身につきます。

### 事前学習

飛騨高山の観光事情、観光トレンド、観光産業の理解、

### 夏季の高山演習

#### I. 観光産業・企業経営の理解 (インターンシップ)

- サービス産業のサービス提供のノウハウ、機能と組織体系を理解します。
- 「旅行者(サービスを受ける側)」と「受入側(サービスを行う側)」の両者の視点で課題解決に取り組みます。
- インターン受入企業別に課題を設定し、インターンしながら課題を解決します。



#### II. 地域づくり

- 観光体験、地域の代表的な企業訪問などを実施し、高山理解を深めます。
- 高山の観光客の実態を知り、喜ばれる観光案内や地域全体を魅力的に発信する方法を考え実施します。



この季節はコキチがおすすめです!  
人気スポットを教えてください!

### 公表

企画立案・事業報告  
上級まちづくりマイスター認定

## 「まちづくりマイスター」認定プログラム

まちづくりに関する科目単位の修得や外部資格を取得した学生のうち、一定の基準を満たした者を「まちづくりマイスター」として認証しています。

### 初級まちづくりマイスター (地域商業・歴史観光・減災福祉)

<3つのまちづくり分野ごとに認定を行います>

まちづくり学 + まちづくり演習

### 上級まちづくりマイスター (地域商業・歴史観光・減災福祉)

まちづくり学 + まちづくり演習 + 上級まちづくり演習<sup>(1)</sup> + 外部資格<sup>(2)</sup>

(1)減災福祉においては、「ボランティア演習」でも可  
(2)外部資格 <地域商業>ボランティアコーディネーション力検定3級資格取得  
<歴史観光>「観光地域づくり人材育成プログラム(COC+事業)」への参加・修了  
<減災福祉>ボランティアコーディネーション力検定3級資格取得又は 災害ボランティアコーディネーター養成講座修了

## 参加者の《声》



現代社会学部  
辻 晴貴

就活のヒントを得たくて参加しました。現地で生活しながら目標を持って就業体験と観光調査をしたことで、自分を見つめ直し、自己成長することができました。また、将来どこでどんな人とどんな仕事をしたのか具体的に考え直すきっかけになりました。



外国語学部  
古川 航希

観光地を盛り上げるためには何をすべきかを学びたくて参加しました。演習では観光客や観光業者の生の声を聞くことができます。高山の方々の地元に対する誇りを感じ、街全体が観光に対して高い関心を持つことが重要なだと気付きました。